

# 大口町 コミュニティバス路線図



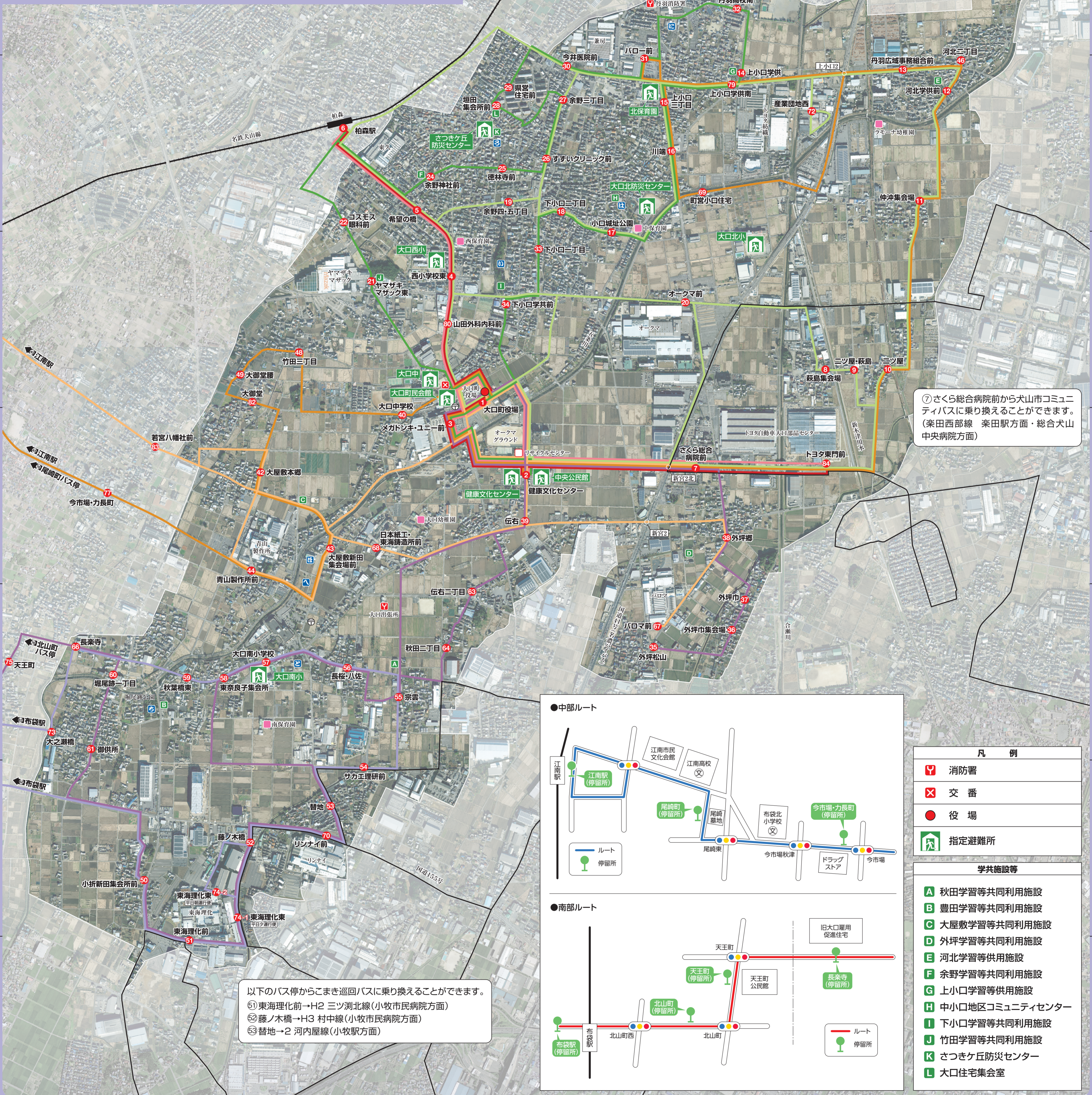
## 凡例

毎日運行便 (12/29~1/3は運休)

- 基幹ルート
- 中部ルート
- 北部ルート
- 南部ルート

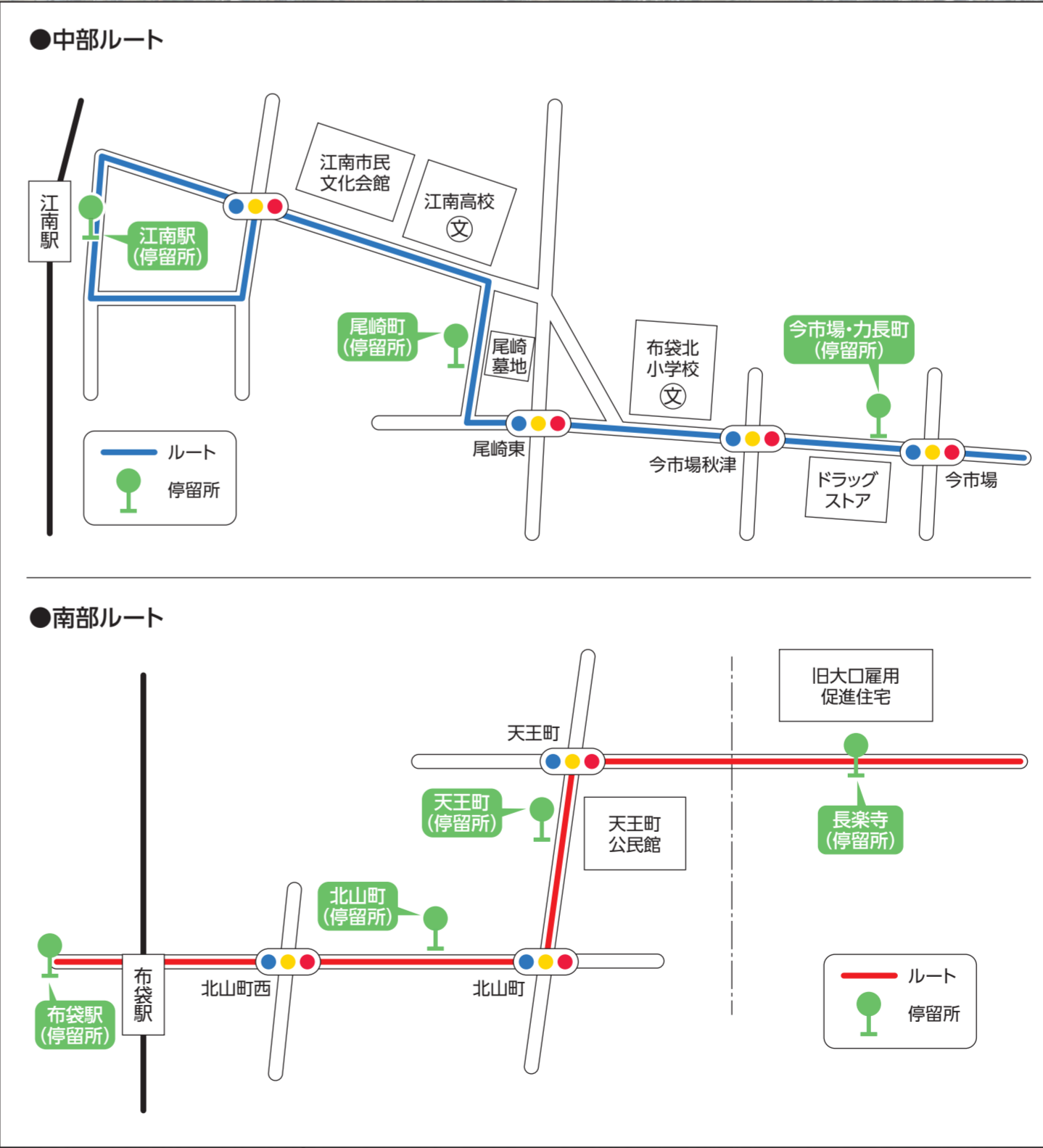
平日 朝・夕運行便 (土・日・祝日及び12/29~1/3は運休)

- 基幹ルート
- 中部ルート
- 北部ルート
- 南部ルート



⑦さくら総合病院前から犬山市コミュニティバスに乗り換えることができます。  
(桑田西部線 桑田駅方面・総合犬山中央病院方面)

以下のバス停からこまき巡回バスに乗り換えることができます。  
 ① 東海理化前→H2 三ツ淵北線(小牧市民病院方面)  
 ② 藤ノ木橋→H3 村中線(小牧市民病院方面)  
 ③ 替地→2 河内屋線(小牧駅方面)



凡例	
	消防署
	交番
	役場
	指定避難所
学共施設等	
<b>A</b>	秋田学習等共同利用施設
<b>B</b>	豊田学習等共同利用施設
<b>C</b>	大屋敷学習等共同利用施設
<b>D</b>	外坪学習等共同利用施設
<b>E</b>	河北学習等共用施設
<b>F</b>	余野学習等共同利用施設
<b>G</b>	上小口学習等共用施設
<b>H</b>	中小口地区コミュニティセンター
<b>I</b>	下小口学習等共同利用施設
<b>J</b>	竹田学習等共同利用施設
<b>K</b>	さつきヶ丘防災センター
<b>L</b>	大口住宅集会所

## 大口町文化財の紹介

- 1 仁所野遺跡**  
 仁所野遺跡は、白山神社(下小口一丁目)の境内地であり、境内には7基の古墳が並び、白山古墳群と称され、昭和35年6月18日大口町指定文化財第1号となった。しかし、野外地(白山ふれあいの森)の着工に伴い調査が行われ、その結果、弥生時代の墓群である方形周溝墓が発見され、弥生時代から古墳時代にかけての複合遺跡であることが確認された。よって昭和60年に仁所野遺跡として、改めて文化財の指定を受けた。
- 2 徳林寺山門・中門**  
 山門は、大山城の第一黒門であったものを明治9年に当寺へ移築された。また、切妻造五五の中間は、文明7(1475)年9月小口城主織田近江に建立されたといわれる。この中門と同寺の古方丈は、室町時代に造られた建造物として現在に伝えられている。
- 3 山柿(小口神社)小口城址公園**  
 老樹だが、樹勢は旺盛で、毎年実を付け、多数の枝が斜めに垂れ下り、樹形は優美である。山柿は、本州前半に自生するが、平野部ではほとんど大樹となつては珍しく、地元では、しめ縄を張り神木としてまつられている。
- 4 善光寺塚古墳**  
 円墳である。墳丘の南と西の裾は土取りがひどく、かなり荒れているが、東面と北面は三段になっている。墳丘の東西径は27m、南北径は約28m、高さは約3.7mで、頂上に数本の榎木と石鳥居が建てられている。
- 5 鑄鉄地藏菩薩立像(長松寺)**  
 長松寺に納められている鑄鉄地藏菩薩立像は、右手に錫杖を執る形で左手首を欠き、前後を繋ぎ合わせ、両脚の背後より縦の合わせ目と、背面の所に横の繋ぎ合わせ目がある。背面上部の横の繋ぎ目のやや下方左に右手のよう突起がある。内部にも同様の痕跡がある。内部は空間がなく充実している。本像の作者は不詳であるが、室町時代の作と推定される。
- 6 桜塚古墳**  
 長松寺の南方約200m、五条川にかかる桜橋の北東にある。直径約14m、高さ約2.5mの円墳で、古くから頂上に数本の桜の木があることから桜塚とよばれていた。
- 7 マメナシ(天神社)**  
 かつては、濃尾平野に広く野生していたが、現在では県下でもその数が少なくなった。市内には、天神社境内と早雲の墓に一本現存するのみである。花は白色で、実は指頭大、味はやや酸味がある。別名「いぬなし」とも呼ばれている。
- 8 堀尾氏邸宅跡(堀尾跡公園)**  
 八幡社境内は、のちの松江城主堀尾吉晴累代の邸宅跡といわれている。堀尾氏は、鎌倉時代の終り頃御供所の地に移り住み尾張国守護斯波氏に仕え、戦国時代に織田信長、豊臣秀吉の臣となって戦功をたて、浜松12万石の城主として24万石を領したといわれている。現在は、八幡社境内にある塚の跡が居るがあったことを憶はせるのみである。